


# unknown\_aircraft レポート

Team: KAKITSUBATA (blackwasan, kn1cht, kuzushiki,  
meow\_thx4organizingCTF, Тамияс, nomizou) 

## 問題文

これらは2025年5月10日 19:00UTC ごろに Flightradar24 上で確認された航空機の様子です。  
画面上で選択されている航空機(赤いアイコンの航空機)について、公開情報から分かる範囲で、調査を行って説明してください。  
記述に関する詳細は添付しているルール(PDF)を参照してください。

※ 問題で提示された画像 は割愛する。

## 結論

これらは航空機ではないと判断した。  
6機のうち4機については油田のプラットフォームと判明している。

根拠として

(1) 航空機として表示されているが、飛行していない

Flightradar24は本来、ADS-B信号により飛行中の航空機を可視化するサービスである。  
今回表示されたオブジェクトは、高度情報が通常の飛行機と比較して低く、移動もしていない(※詳細については後述する)

(2) AIS(船舶の自動識別システム)にも同一名で登場

本件オブジェクトは航空機のADS-Bネットワークだけでなく、AIS (Automatic Identification System) にも同名で出現しているものがある(※詳細については後述する)

(3) 実体の特定と推定される正体

調査の結果、これらのオブジェクトの多くは中国海洋石油総公司(CNOOC)が運用する海上油田プラットフォーム(例: CEP PLATFORM)である可能性が高い。

(4) 特定した範囲で油田の情報を列挙する

施設コード	英語名	中国名
KL6-1	Kenli 6-1	壘里6-1
BZ35-2	Bozhong 35-2	渤中35-2
PL19-3	Penglai 19-3	蓬莱19-3

# 「航空機」の各論

問題になっている航空機について詳細な調査結果を記す。

## 航空機その1 (KL61CEP)

Flightradar24では、

<https://www.flightradar24.com/2025-05-10/17:07/20x/KL61CEP/3a46d7bc>

より、

緯度

37.99701

経度

119.80203

で滞留していることがわかり、飛行物体であるのであれば不自然であることがわかる。

また、座標をmarinetrafficで調べると、付近にKL6\_1\_CEP\_PLATFORMというプラットフォームがあることがわかる

[https://www.marinetraffic.com/hr/ais/details/ships/shipid:8860098/mmsi:413513220/imo:0/vessel:KL6\\_1\\_CEP\\_PLATFORM](https://www.marinetraffic.com/hr/ais/details/ships/shipid:8860098/mmsi:413513220/imo:0/vessel:KL6_1_CEP_PLATFORM)

## 航空機その2 (B352WHPB)

Flightradar24では、

<https://www.flightradar24.com/2025-05-10/07:20/40x/B352WHPB/3a44f13b>

より、

緯度

38.0714

経度

119.82406

で滞留していることがわかり、飛行物体であるのであれば不自然であることがわかる。

この座標をmarinetrafficで調べると、付近にというBZ35 2WHPBPLATFORMプラットフォームがあることがわかる

[https://www.marinetraffic.com/pt/ais/details/ships/shipid:8966569/mmsi:413277570/imo:0/vessel:BZ35\\_2WHPBPLATFORM](https://www.marinetraffic.com/pt/ais/details/ships/shipid:8966569/mmsi:413277570/imo:0/vessel:BZ35_2WHPBPLATFORM)

## 航空機その3 (KL61WHPD)

Flightradar24では、

<https://www.flightradar24.com/2025-05-10/17:01/40x/KL61WHPD/3a451100>

より、

緯度

37.99699

経度

119.80205

で滞留していることがわかり、飛行物体であるのであれば不自然であることがわかる。

座標をmarinetrafficで調べると、付近にKL61WHPD というプラットフォームがあることがわかる

[https://www.marinetraffic.com/pt/ais/details/ships/shipid:8781277/mmsi:413565630/imo:0/vessel:KL61WHPD\\_PLATFORM](https://www.marinetraffic.com/pt/ais/details/ships/shipid:8781277/mmsi:413565630/imo:0/vessel:KL61WHPD_PLATFORM)

## 航空機その4 (N/A Piper PA-12とされているもの)

Flightradar24では、

<https://www.flightradar24.com/2025-05-10/17:10/40x/PA12/3a4645de>

より、

緯度

39.46678

経度

120.45326

で滞留していることがわかり、飛行物体であるのであれば不自然であることがわかる。

この座標をmarinetrafficで調べると、付近にLD10-1CEPというプラットフォームがあることがわかる。

[https://www.marinetraffic.com/pt/ais/details/ships/shipid:9040544/mmsi:412301830/imo:0/vessel:LD10\\_1CEP\\_PLATFORM](https://www.marinetraffic.com/pt/ais/details/ships/shipid:9040544/mmsi:412301830/imo:0/vessel:LD10_1CEP_PLATFORM)

以下の記事から中国海洋石油総公司のものであることも確認済みである。

<https://www.upstreamonline.com/field-development/cnooc-ltd-pursues-new-gas-development-in-south-china-sea/2-1-1487562>

## 航空機その5 (N/A Bombardier Global 6000 とされているもの)

Flightradar24では、

<https://www.flightradar24.com/2025-05-10/17:10/40x/GLEX/3a46de7d>

より、

緯度

37.6541

経度

119.52462

で滞留していることがわかり、飛行物体であるのであれば不自然であることがわかる。

この座標をmarinetrafficで調べると、付近にKL10という油田プラットフォームがあることがわかる

[https://www.marinetraffic.com/pt/ais/details/ships/shipid:8985073/mmsi:413277580/imo:0/vessel:KL10\\_4WHPA\\_PLATFORM](https://www.marinetraffic.com/pt/ais/details/ships/shipid:8985073/mmsi:413277580/imo:0/vessel:KL10_4WHPA_PLATFORM)

## 航空機その6(PL193HPC)

Flightrader24ではAirbus Helicopters H125、FlightawareではAirbus Helicopters AS 350B3とされている物体である。

<https://www.flightaware.com/resources/registration/N1WT>

<https://www.flightradar24.com/2025-05-10/17:10/40x/PL193HPC/3a452874>

一方、コールサインの末尾が”HPC”となっている。これまでに判明したKL6-1等の命名規則から類推すると、PL19-3WHPCと呼ばれている油田モジュールではないかと考えられる。

前節にて推測したモジュール名PL19-3WHPCで検索したところ、確かにこのモジュール名(蓬莱19-3 WHPC / PL19-3WHPC)を中国の建設企業がプロジェクト名に用いており、実在する油田モジュールである可能性が高い。

[http://yuanmingchina.com/news\\_show.asp?id=29&classid=1&sclassid=29](http://yuanmingchina.com/news_show.asp?id=29&classid=1&sclassid=29)

このPL19-3では過去に石油流出事故が発生しており、関連するプレスリリースには運営企業がCNOOC Limited(中国海洋石油有限公司)とConocoPhillips China Inc.(康菲公司)であることが記されている。

[https://www.cnooc ltd.com/english/presscenter/pressreleases/2011/202409/t20240925\\_95895.html](https://www.cnooc ltd.com/english/presscenter/pressreleases/2011/202409/t20240925_95895.html)

## 各種表示された名称について

KL61CEP、KL61WHPD、B352WHPB、PL193HPCは油田プラットフォームの識別子であることが以下のリンクから判断できる。

KL6-1油田: <https://www.piclub.or.jp/ja/news/28140>

PL19-3油田: [https://www.mee.gov.cn/xxgk/xxgk11/202501/t20250117\\_1100823.html](https://www.mee.gov.cn/xxgk/xxgk11/202501/t20250117_1100823.html)

BZ35-2油田:

[https://www.mee.gov.cn/ywdt/gsgg/gongshi/wqgs\\_1/202412/t20241210\\_1098334.shtml](https://www.mee.gov.cn/ywdt/gsgg/gongshi/wqgs_1/202412/t20241210_1098334.shtml)

## 渤海油田および各油田モジュール

これまでの調査により、問題の画像にて選択されていた6つの物体は航空機ではなく、中国の油田モジュールである可能性が高い。また、これらはいずれも渤海に設置されているため、中国最大の海洋石油基地である渤海油田に属する構築物と推察される。

[http://www.livejapan.cn/static/content/rzfh/japanese\\_news/xb\\_news/2024-03-21/1220316554299195392.html](http://www.livejapan.cn/static/content/rzfh/japanese_news/xb_news/2024-03-21/1220316554299195392.html) (油田に関する新聞記事)

例えば、KL6-1という名称で各種データに登場していた油田は、垦利6-1 (Kenli 6-1) 油田のことと考えられる。

[https://content-static.cctvnews.cctv.com/snow-book/index.html?item\\_id=5270832197705691540](https://content-static.cctvnews.cctv.com/snow-book/index.html?item_id=5270832197705691540)  
(垦利6-1の掘削が完了したことを伝える2023年9月のニュース記事)

## なぜ油田モジュールがFlightradar 24に表示されたのか

Flightradar24上に表示される海上油田プラットフォームは、実際には飛行していない固定構造物であるが、ADS-B形式の信号を発信していること、FR24の処理仕様が飛行状態を判別しないこと、AISとのデータ混在といった要因により、「航空機」として誤って表示されているものと考えられる。

このような表示は偽装ではなく、運用上の必要性や技術的仕様による副次的な結果と推定されるが、OSINTや航空監視上の誤認要因となるため、今後の観測においては注意が必要である。